

## 小1虐待死事件受け報告会 「子どもと一緒に考えよう」

(2010年10月3日午後8時47分)

東京で1月に起きた小学1年岡本海渡君の虐待死事件を受け、虐待防止キャンペーンを続ける地元・江戸川区のグループが3日、都内で報告会を開催。約千人の子どもを対象にしたアンケートを基に「相談できる人がいない」と感じている子どもが多いことが報告された。

遊びを通じて若者と社会をつなげる活動をしている荒田直輝さんは「子どもたちは社会に対しちゃんと意見を持っている。一緒に考える機会が重要だ」、放送大の宮本みち子教授は「社会的な解決より、個人的に解決しようとしている子どもの姿がうかがえる」と参加者として話した。

グループは「江戸川子どもおんぶず」と「チームあさって」。アンケートは18歳以下を対象に5月から実施。13都道府県から1023通の回答を得た。中高生が約8割を占めた。

具体的な数は明らかにされなかったが、「困ったときの相談先」としては「友だち」「家族」が上位二つで、次いで多かったのは「ない」。先生や児童相談所などの公的機関は少なかった。